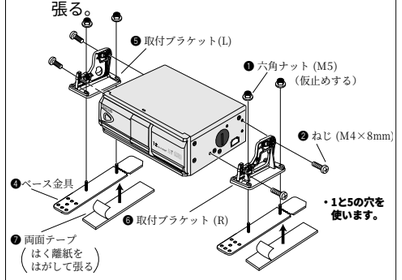
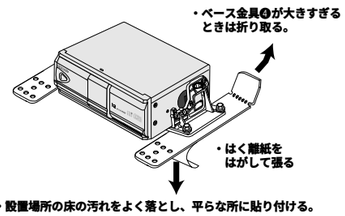
取付けのしかた

横置きの例

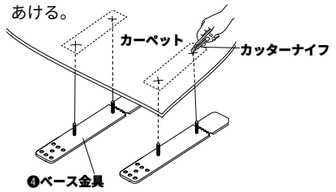
1 取付ブラケット❺❻を取り付け，ベース金具❹を仮止めし裏面に両面テープ❼を張る。



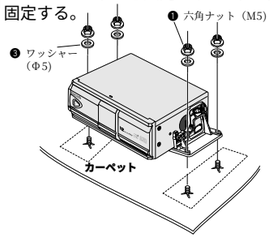
2 両面テープ❼のはく離紙をはがし，取り付け位置にベース金具❹を貼り付ける。



3 仮止めのままで，カーペットに穴をあける位置に印を付ける。ベース金具❹を取付ブラケット❺❻から外し，カーペットに穴をあける。

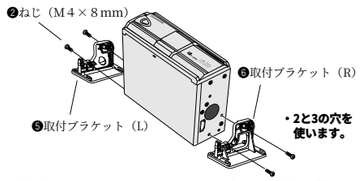


4 CDチェンジャーを六角ナット（M5）❶で固定する。



縦置きの例

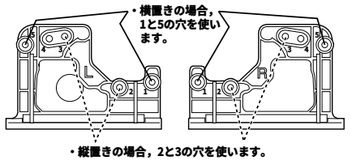
取付ブラケット❺❻を本機両側面にダブルワッシャー付六角ボルト(M4×8) で取り付けます。



必ず左右のセレクターを「V（垂直）」側に設定してください。

取付ブラケットの取付穴と取付角度の関係

取付ブラケット (L)　取付ブラケット (R)



取付ブラケット (L) および (R) の取付穴と取付角度の関係は上の図通りになっており，穴の近くに表示されています。取付角度に合わせて正しい取付穴を使用してください。

⚠注意

ヒューズの交換は専門技術者に依頼する

規定以外のヒューズを使用すると，発煙，発火，故障の原因になります。ヒューズの修理や交換は，お買い上げの販売店にご依頼ください。

取り付け，配線は専門技術者に依頼する

本機の取り付け，配線には専門技術と経験が必要です。安全のため，お買い上げの販売店に依頼してください。

配線のしかた

配線の前に

- 本機はDC12V⊖アース車専用です。
- 配線作業中のショート事故防止のため，バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
  また車のACCスイッチは必ずOFFの位置にして配線を行ってください。
- CDチェンジャーへのコネクターを先に接続してから，8ピンDINコネクターとRCAコネクターとアースコードを接続し，**最後にバッテリーコード (黄) を接続してください。**
- 配線については，レシーバーの取扱説明書をよくお読みください。

ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では，バッテリーの端子をはずすと，これらのコンピューターのメモリーが消えてしまうことがありますので，バッテリー端子をはずさず，ショートさせないよう注意し接続してください。

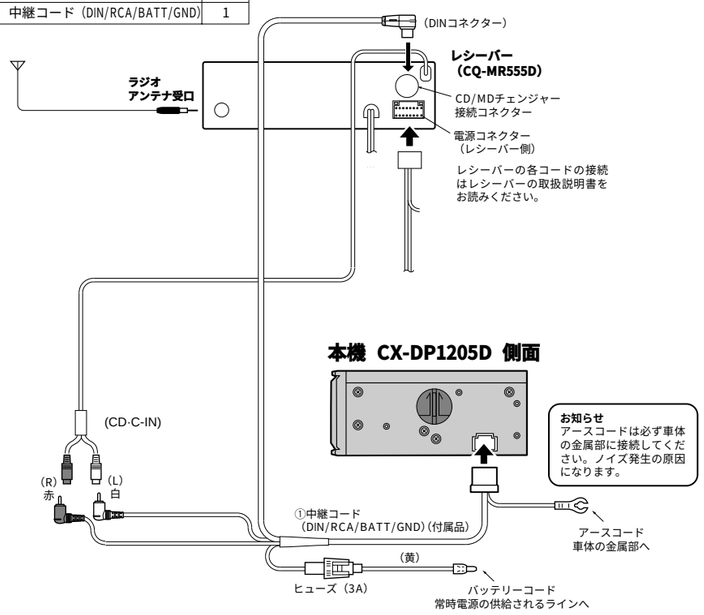
配線が終わったら

- 全ての配線をもう一度確かめて，車のACCスイッチをONの位置にしてください。
- マガジンを入れる前に，レシーバー側のPOWER（電源ボタン）をONにした状態で，一度EJECT⏏ボタンを3秒以上押してリセットしてからご使用ください。

●本機とレシーバー(CQ-MR555D)との接続例

配線用付属品

番号	品　名	個 数
①	中継コード（DIN/RCA/BATT/GND）	1



アフターサービスについて

1．保証書（別に添付してあります。）
保証書は，必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ，販売店から受け取っていただき，内容をよくお読みのあと，大切に保存してください。

保証期間ーお買い上げ日から１年間

2．修理を依頼されるとき
「故障と思われる前に」の項に従って調べていただき，直らないときには必ず電源を切ってから，お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理をさせていただきますので，恐れ入りますが，製品に保証書を添えてご持参ください。お買い上げの販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙）にご連絡ください。
- **保証期間が過ぎているときは**
  お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については，ご希望により有料で修理をさせていただきます。販売店にご依頼にならない場合には，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙）にご連絡ください。

3．修理用性能部品の最低保有期間
このセットの補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）は，製造打ち切り後，最低６年間保有しております。

4．アフターサービスなどについて，おわかりにならないとき
お買い上げの販売店または，お近くの「お客様ご相談窓口」（別紙）にお問い合わせください。

故障についてのお願い

万一異常（ヒューズの溶断など）が起こりましたら，必ずお買い上げの販売店またはお近くの「お客様ご相談窓口」（別紙参照）に修理依頼をしてください。ご自身でヒューズの取り替えや修理をされますと，思わぬことで故障の範囲を大きくすることがありますので特にご注意ください。

お手入れのしかた

お知らせ
〈本機の清掃〉

- 乾いた柔らかい布で拭いてください。ベンジン，シンナー類を使いますと，ケースや塗装が変質しますので，避けてください。
- 化学ぞうきんをご使用の際はその注意書にしたがってください。